

(別添資料1)

事業所名

クオリティ・オブ・ライフ中丸支援教室

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7 年

1 月

9 日

法人（事業所）理念	利用者様の「生活の質の向上」を目指すとともに利用者様に関わる周りの方の幸せ、向上をモットーに1人ひとりに寄り添った支援が提供できるように日々努めています。障害の有無に関わらず全ての方が活躍できる「ノーマライゼーション社会の実現」という信念をもって、社会福祉サービスを提供しています。										
支援方針	利用者様のみならず、利用者様に関わる方、職員一同の「生活の質の向上」を目指して支援を行っています。利用者様、保護者様に寄り添った関わりが提供できるように日々努めています。ダンスを取り入れ個々の自由や、個々の表現を大切にノーマライゼーションの実現を目指しています。										
営業時間	平日	10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり なし
	土曜日	9	時	0	分から	17	時	0	分まで		
メニュー	○個別プログラム：日常生活支援、基礎学力向上支援、個別指導、朝の運動、理学療法士によるストレッチ運動 ○集団プログラム：ダンス・手話・ミュージックケア・工作・集団レクリエーション・調理実習・校外学習・季節のイベント等・言語学習・基本的な生活習慣 ○社会体験プログラム：発表会、FES等のイベント、避難訓練、イベント参加でのダンスステージ発表、映画鑑賞、県庁見学、交通安全教室										
本人支援	健康・生活	・カリキュラムを通して身近自立に繋げる内容を取り入れながら、各利用者様に合わせて支援を行います。自分で出来る事を増やし、できる喜びを感じ、更なる成長に繋げていきます。・基本的な生活習慣を通して、排せつ、清潔について、言葉、挨拶を丁寧に知らせていきます。自分の体調を知り、無理せずに休憩を取り入れながら楽しく過ごしていけるようにして行きます。・調理実習や野菜栽培を通して食への興味関心を高め、食育に繋がっていきます。									
	運動・感覚	・カリキュラムやレクリエーションを通して姿勢維持、体力維持、柔軟性の維持、運動能力向上に繋がられるような様々な運動を理学療法士の指導の下に行っていきます。・ダンスを通して体全体で表現する楽しさ、個々の表現力・運動能力向上をダンスインストラクターの指導により行っていきます。発表会や、フェス等でステージに立ち踊ることで人に観てもらい喜び、賞賛してもらい達成感と喜び、楽しさを感じられる体験を増やしていきます。									
	認知・行動	・個々に合わせたプリント学習やドリル等で数量、大小、色の区別の習得に繋げていき、年齢相当の理解に近づけていけるようにしていきます。玩具、パズル、トランプ等を利用して視覚・聴覚・触覚の感覚を十分に活用していけるように支援していきます。・模倣、観察なども含めて利用者の認知度を高めて意欲を引き出すような関わりを目指しています。									
	言語コミュニケーション	日々の支援に学習する時間や文字に触れる時間を設けて文字や言語に興味関心を持ち、個々のペースでの発語や年齢相当の正しい言葉の発音ができるように支援していきます。言葉が出ないお子様には、たくさん話しかけることで、言葉のインプットを行い急がずにアウトプット（発語）に繋がっていきます。・遊びやカリキュラムを通して、言葉、ジェスチャー、絵カード等でお友達、支援員とのやりとりを増やしていき人と関わる楽しさを伝えていきます。・一方的な発信だけでなく相手の話を聞く、やり取りができる事を目標にします。									
	人間関係社会性	・集団活動やレクリエーションを経験することでお友達や周囲への声掛けや気持ちのコントロールを学んでいけるようにします。・集団遊びや校外学習を通してルール、約束事、社会生活の決まり事等の理解を深めていきます。・自分が困った時、聞きたい時、つらい時、疲れた時、我慢せずに自分の言葉で相手に伝える重要性を知らせていきます。返事、挨拶が自らできるように支援していきます。就労に向けて、自分の気持や体調の変化を知る、決まりを守る、挨拶、報告、連絡、相談が自分の言葉でできるように練習していきます。									
家族支援	・日々の様子を保護者様に口頭や記録を通して伝えて成長を共に喜んだり、心配な部分を確認しながら寄り添っていきます。保護者様の困りごとや悩みに寄り添い一緒に利用者様のよりよい生活が築けるようにサポートしていきます。					移行支援		・保護者様や御本人の意向を踏まえて関係機関との連携を取りながら本人の将来を見据えた促しをしていきます。・日々の支援の中に将来を見据えた内容を取り入れて支援をします。			
地域支援・地域連携	・学校や福祉サービス等と担当者会議等を通して情報を共有し利用者様の理解を深めていきます。・地域の公共施設を利用したり、イベント等に参加して交流を深めていきます。					主な行事等		発表会、FES、避難訓練、親子遠足、サッカー観戦、宿泊学習、親子レク、ダンススペース、ミライキッズ体力測定、交通安全教室、警察本部見学、県庁見学、イベント参加、ダンス発表、映画鑑賞、保護者会、夏祭り			
職員の質の向上	グループ全体で委員会を設置して研修・訓練・事例検討を重ね支援の質を向上します。外部講師を招いて研修会を行います。日々の支援の振り返りを各教室で行い利用者様に最善の支援を提供します。役職に合わせて会議を開催し、情報共有、事例検討、ディスカッションを行い同じ失敗を繰り返さないように利用者様に最善の支援を提供します。各教室での「虐待防止・身体拘束適正化研修」「送迎研修」「BCP研修・訓練」「衛生研修・訓練」「外部研修への促し」「事例検討」等学ぶ機会を沢山準備していき、日々研鑽します。										